

2023 年度 個人研究実績・成果報告書

2024 年 4 月 1 日

所属	基盤教育機構	職名	准教授	氏 名	影浦亮平
研究課題	CSR を中心とした、個人や団体の活動と制度の倫理的基盤の研究				
研究キーワード	CSR, SDGs, 倫理、哲学思想、市民、文化、教育		当年度計画に対する達成度	2.順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が達成できた	
関連するSDGs項目	8. 働きがいも経済成長も	12. つくる責任 つかう責任	4. 質の高い教育をみんなに	10. 人や国の不平等をなくそう	

1. 研究成果の概要

論文 4 本、書評 1 本、記事 3 本、エッセー 1 本、研究発表 4 回という研究成果を 2023 年度は出すことができた。サステナビリティに関連する業績が多かった。今年度、フィールド調査等をしつつも、まだ論文にできていないものも存在する。そうしたものも含めて、引き続き、次年度でも同じ研究をより発展させる形で継続させていきたい。

2. 著書・論文・学会発表等（査読の有無及び海外研究機関等の研究者との国際共著論文がある場合は必ず記載）

【論文（査読あり）】

影浦亮平(2024)、共著、論文「都の周縁地域の変貌とメディアを通じた観光ビジネスモデルの構築ー京都市右京区の京北地域に注目してー」、国際言語文化学会 日本学研究、第 9 号、pp. 1-12

影浦亮平(2024)、共著、論文「加藤寛の「総合政策学」研究の試論」、国際言語文化学会 日本学研究、第 9 号、pp. 49-56

【著書・論文（査読なし）】

影浦亮平（2024）、共著、論文「パラダイムシフト期における企業の事業戦略ー太陽光発電事業のシリコン系とペロブスカイト化合物系素材に着目してー」、千葉商大論叢、61 巻 3 号、pp. 93-110

影浦亮平（2023）、共著、論文「時間軸から考察したバイオ燃料の経営的価値」、千葉商大論叢、61 巻 2 号、pp. 57-69

影浦亮平(2023)、単著、書評「上野成利、高幣秀知、細見和之編『「啓蒙の弁証法」を読む』」、港、神戸・ユダヤ文化研究会、pp. 90-92

影浦亮平(2023)、単著、記事「ジェニーズ性加害問題に見る人権デュー・デリジェンスの浸透」、週刊エコノミスト Online

影浦亮平(2023)、単著、記事「SDGs から見えるロシアのウクライナ侵攻」、週刊エコノミスト Online

影浦亮平(2022)、単著、記事「新型コロナウイルスで問われる、誰しも医療にアクセス可能な世界」、週刊エコノミスト Online

影浦亮平(2023)、単著、エッセー「コロナウイルス感染症明けが待ち遠しい」、きずな、千葉商科大学同窓会、pp. 90-91

【学会発表等】

影浦亮平(2023)、単独、「人権デュー・デリジェンスの日本における浸透の倫理的考察」、国際言語文化学会 日本語・日本語教育研究会、第 31 回

影浦亮平(2023)、単独、「ベンヤミンとアドルノのメディア論再検討」、国際言語文化学会 カルチュラル・ス

タディーズ研究会

3. 主な経費

学会の年会費と出張費

4. その他の特筆すべき事項（表彰、研究資金の受入状況等）

サステナビリティ研究所の研究プロジェクト（定常的・競争的）

専修大学社会科学研究所の客員研究員

（本文は2ページ以内にまとめること）